



三 賄口の料
此の賄口料は... (Text describing the 'Jupoku' fee, including amounts like '100000' and '1000000')
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

Handwritten Japanese text in vertical columns, likely a ledger or account book. The text is arranged in numbered sections (三 through 二十) and includes various entries, some of which are obscured by black redaction marks. A red mark '49' is visible in the lower middle section.

馬の... (馬の...)

三 勝回の前

此の勝回... (此の勝回...)

一石の... (一石の...)

其下... (其下...)

中村... (中村...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)

阿... (阿...)



（三） 此の所のまゝにして

（三） 勝田の別荘

此の勝田の別荘は、大塚の別荘の一間（中上寄りの常屋）

三方折廻しの縁側ありて、掃帚の△

△底の面 一尺の床の足ふく画幅をわたり、平床に懸架し、飾を懸架後

て地袋、長下子一尺のねのせ、夏南風障子、

同様の（号）

下子（号） 茶室の（号） 掃帚と見せ

掃帚の（号）

中村信又（後） 海苔の（号） 垣根を依廻し

（号） 庭下駄

九寄

寫を器柄も平床な 掃帚を被るゝかありて

掃帚（号） 掃帚の（号） 掃帚の（号） 玉の（号）

阿由（号） 庭下駄

庭下駄

信又

阿由

八夫

掃帚（号）

行大



指... 下巻と定めて

行夫 オイ様研とさう題をがらや(河)はまお殿の代お面から一ふり書いておる

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

△以内行... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

阿由 ころも... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 俺... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 俺... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

阿由 是れ... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

阿由 是れ... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

阿由 是れ... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ

下指介 見ても巨... 阿魔つちよが... 宿るやあるよ



福地櫻痴、夜鶴、原稿断片



文庫14
A135





中岡久樹識

